

あさか環境市民会議 運営会議 議事録

日 時：令和6年12月3日（火）午前9時～11時45分

場 所：岡緑地（岡町内会館）※「紅葉を見る会」同時開催

出席者：松永会長、田中副会長、小林副会長、豊田監査、栗田会計、藤井会計、明山さん、
浅野さん、遠藤さん、大木さん、大畑さん、兼本議員、岸本さん、小林（眞）さん、
沢田さん、萩原さん、山本さん、渡辺（や）さん、事務局（山代）

1 報告と振り返り

～岡～

（明山さん）

- ・斜面にヤマブキソウが植生域の笹が茂って来ているので刈り取りをした。西側隣家の境界に竹の根を切った溝が有るが、草が伸びて溝が埋まってしまったので刈った。溝は埋まらないようにしたい。

（田中副会長）

- ・上の境界周りの柵が腐って倒れている。

（松永会長）

- ・柵の修理などは会で全て対応することは難しいので、みどり公園課に言うしかない。直接言うか、電話か。

（豊田監査）

- ・杭の周りの笹を刈らないと杭も打ち込めない。みどり公園課に直接言っていいたいと思う。
- ・上方で枯れている木が2本あったので処理した。

～宮戸～

（明山さん）

- ・南の崖上の民家から、夏から枝が伸びているので手入れしてほしいと依頼があった。秋冬になったら始めようという話になっていたので、みどり公園課の了承を得て2m位離す感じで除伐を始めた。
- ・サルビアが田んぼ沿いのところに侵入していて、大分目立ってきた。ニリンソウやコウヤワラビの在来種の植生を生かしたい。外来種に負けている。
- ・貸農園について。今後、3月に返上となって4月か5月に業者が入る予定らしい。在来の植物園を作ろうとしてきたが、厳しい状況。
- ・また隣接の大木の剪定がみどり公園課に来ているとのこと。切ってもらう必要がある。
- ・以前みどり公園課で植栽したツツジとヤマボウシを植えたものもある。すぐには大きくなりませんが、いずれは切るか、残すか検討しなければならない。
またそこは整理して車を3、4台入られるようにしたい。道路にはみ出したり、田んぼの作業スペースに置かしてもらったりしている。
- ・広場の真ん中に雨水の排水している場所の階段が豪雨により崩れたままで困っている。足が深くまで嵌ってしまいそうで危険なため、丸太を被せて応急処置をしている。

（豊田監査）

- ・車を停められるようにしても、土砂崩れがあったら危険ではないか。本来、雨水は山に自

然浸透させるはずが、土砂を流してしまっている。雨水の排水管を市の担当課が整備すべきだと思う。

～根岸台～

(豊田監査)

- ・ 11月23日(土)は9名、26日(火)は11名参加した。
 - ・ 23日(土)は、暗渠水路近くの葛の根が伸びてきたので片付けた。
 - ・ リース用の蔓を集めたので、有志が飾りを作っていた。
 - ・ 上の斜面でタグ付きの木が枯れて折れていたのを除去した。民家に影響はなかった。みどり公園課にはタグを付けた時に枯れ木の処理をしてほしかった。
- ※タグについて補足。(松永会長) 幹周りが30cm以上の木は市が管理するために、現在順番にタグ(黄色の丸い札)が付けられている。タグに書かれている番号で管理されていて、木に何かあった時は「どこの何番の木か」で報告ができる。
- ・ 26日(火)でも、湿地跡地の正面でクヌギの大木が枯れて折れていた。周辺の木をなぎ倒していた。風による倒木かもしれない。
 - ・ チップチョッパーのエンジンがかからない。斧も刃こぼれしている。道具の手入れの手伝いを頼みたい。

(松永会長)

- ・ 倒木について、6月か7月に強風があった時にあちこちの木が倒れている。

(浅野さん)

- ・ 倒木は竜巻の時ではないか。和光市でも被害が出ていた。

2 その他

○ポイ捨て防止キャンペーンについて(事務局・山代)

- ・ 11月20日に開催予定だった第1回は雨天により中止となった。
- ・ 1月23日(木)に第2回の開催が決まったので、ご参加いただける方は事務局までご連絡ください。

《詳細》

日時：令和7年1月23日(木) 9時～(10時終了予定)

朝霞台駅周辺で路上喫煙・ポイ捨て防止に関する啓発活動を行います。

○第6次総合計画策定に係る市民意見交換会について(事務局・山代)

- ・ 総合計画担当課の政策企画課から、市民意見交換会の周知依頼があった。ぜひ参加してほしい。詳細は、会員用掲示板の11月20日に掲載した添付ファイル参照。

○エコ探検について(報告)

(松永会長)

- ・ 参加者は27名。(会員14名、一般参加13名)参加者が多く移動が大変だったが、盛況でよかった。
- ・ 東京とは思えない景色があつて楽しかった。自分も過去に初めてエコ探検に参加して楽しめたことで、会への入会に繋がった。

- ・ブログに少しずつ掲載していく予定。

(小林副会長)

- ・竹林公園は回遊式の公園で、孟宗竹の竹林の中に遊歩道が整備されている。
東京の公園100選にも選ばれている。人の手が入っていない自然河川や湧き水があり、東京で一番素晴らしいと思う。
- ・南沢湧水群は、地下水を汲み上げて市民に供給している。自前のホタルもいる。
- ・向山緑地公園は雑木林があり、こちらも回遊式になっている。斜面林に手つかずの湧水がある。朝霞にはない公園。
- ・東久留米には雑木林が11ヶ所あり、管理基準が決まっている。
- ・現地のボランティア団体の会長に案内してもらった。東久留米は活動が活発で、参考になることがたくさんあった。

○宮戸の貸農園と田んぼについて

(松永会長)

- ・来年3月で宅地となってしまう。その前になんとかできないかと陳情書を10月に提出した。
- ・提出の前にみどり公園課も運営会議に参加し、田んぼを借りられるよう交渉する方向で考えているとのことだった。
- ・12月中に、地権者と田んぼの1枚を借りる契約を行う予定とのこと。今後は、地元の方々と協力して管理し、田んぼとして復活させたい。他の田んぼもどうなるか、注目して追っていききたい。

(明山さん)

- ・生産緑地の指定を受けていない田んぼや畑は所有者の都合で処分可能でありであり、後継者がどうなるか、市民がどう関わっていけるか。水の張った田んぼとして復活させたいが、水の管理等はどうするか。今後、色々と検討して勉強していきたい。

(浅野さん)

- ・地権者の農家さんは、農業としてのノウハウを持っている？

(明山さん)

- ・代々続いている農家さんで、今やっている田んぼもある。今農業をやっている方が元気な内に繋がりを作り、ノウハウを学んで継承して行けると良い。

(沢田さん)

- ・東久留米は、緑地の地権者が手放す時は市が自動的に買い上げるという契約になっている。朝霞もそうすることは出来ないか。

(松永会長)

- ・朝霞にもその制度はある。特別保全緑地に市が指定していて地主が売るときは市が買うと指定した土地で、耕作地は入っていない。

(小林副会長)

- ・東久留米の緑地買い上げは市ではなく都が買うという契約。都道府県レベルの話なので財政規模が違うし、畑か田かで違ってくる話ではあるが、朝霞でも広げたい。

○東久留米の緑地について

(松永会長)

- ・東久留米は都、市、ボランティア団体の役割分担がしっかりしている。朝霞も同様にやってもらいたい。
- ・ボランティア団体のホームページを見てほしい。目指す姿や迷った時に参考になる。
(明山さん)
- ・元々は横浜の緑地を見るという話だったが、遠いので近隣の緑地を探した。そこを参考にして、朝霞でも勉強会を開いて活動の方針を決めて市に提案しようとして始まった。
(小林副会長)
- ・エコ探検で案内してもらったボランティア団体の豊福さんは、「現場に出るのが一番いい」と言っていた。例えば、民家に枯れ葉が散るとい苦情が出たら状況を見に行って、迷惑にならないように整備する等、現場の状況から学んで「こうしよう」となる。そうすると後の管理が非常に楽になる。

○みどりの基本計画改訂について

(松永会長)

- ・緑化推進会議がメインとなって進められている。他にも生物多様性懇談会など様々な会が関わっている。
- ・意見があれば出していききたい。市民コメント（旧パブリック・コメント）も始まってくるが、意見を出せる場は自分で探さないと見つけれないし意見が届かない。市民コメントも出す人は少ないと思うが、意見を出して変えていくチャンス。
- ・現在、森林環境税は今年度より市税として納めているが、朝霞市では『朝霞市森林環境整備基金』として積み立てが行われている。森林がある市とない市が自治体交流して税を活用している自治体があると新聞に記事が掲載されていたが、朝霞市では市内にある森林整備に利用をして貰いたい。声を出していかなければ。

(小林副会長)

- ・管理用通路から 5 m の範囲には木が植えられるので、黒目川に親しむ会でも植える場所を買ってほしいと要望を出しているが、緑地を増やし保全していくために何度も言っていないといけない。

(藤井会計)

- ・みどりの基本計画について。現在、森林や田畑をどのように生かすか、何が必要か、無作為で住民アンケートを行っている。また、緑被率を調べてデータにしているとのこと。コンサルタント会社が入って水の流れも調べている。生態系の会議では、どこに何がいるか等、生物についても調査している。

(渡辺さん)

- ・データ元は、コンサルタント会社が独自に調べているのか。

(松永会長)

- ・生物多様性懇談会での各団体の報告データをコンサルに渡している。コンサルの方は非常に熱心で、細かくデータ化している。

(渡辺さん)

- ・普段の活動では手入れするのに手一杯で、緑地の特性について記録に残したりできない。簡単な冊子でも作れば、市民に配って緑地を見に来てもらったり活動が広がっていく足がかりになるのではないかな。

(松永会長)

- ・市が事業を計画したときに、説明会やワークショップを熱心に行っているが、工事や事業が開始されると市民が意見を出す機会が無くなる。工事や事業の過程でも随時意見が出せるようにワークショップ等を開催して欲しい。また、私達が声を上げなければならないと思う。現在建設中のまぼり公園の経過の中で感じた。

○観察会について

- ・4月、岡か宮戸で考えているが、具体的な日時と場所をどうするか。
→次回の運営会議で、検討して決める。

○黒目川の景観

(沢田さん)

- ・黒目川の桜と菜の花の景色は素晴らしいと思う。知人も皆そう言っている。人が増えすぎても困るかもしれないが、市がSNSなどで広めたらどうか。

(栗田会計)

- ・桜の木は、そろそろ寿命が来るのではないか。強風で倒れる恐れもある。どこの行政もそのような発信はしているが、先のことを考えていかなければ酷い状況になってしまうのではないかと個人的には思う。

(小林さん)

- ・桜の木は、人が土手を歩くことで踏み固めて崩れないようにする意図があるはずなので、人が集まるのは構わないのでは。

(藤井会計)

- ・近隣住民など個人でアピールしている人はいるが、市で大々的にやると人が集まって観光地になり、管理が大変になる。

(豊田監査)

- ・枯れている木もあるので、面倒を見ることも考えていくようだと思う。

(沢田さん)

- ・管理はすべきだけど、景観の素晴らしさを人に知らせるのはまた別に考えるべき。

(松永会長)

- ・環境のことだけ発信しても人はなかなか集まらない。良い景観があると発展できる。桜など人が集まる所の発信もいいが、既に人は多く集まっている。会として発信するなら黒目川の一部としてという形がいいと思う。

この後、隣の岡緑地で紅葉を観察し、昼食会を行った。

次回運営会議は1月7日（火）10：00から リサイクルプラザにて